

プロ野球独立リーグを事例とした一考察 —ファンクラブ会員に着目して—

白本 拓馬 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)
指導教員 吉倉 秀和

キーワード：プロ野球独立リーグ ファンクラブ会員 観戦動機

1. 緒言

2005 年以降、日本では独立系プロスポーツリーグ（独立リーグ）が新設された。

これまで、プロ野球独立リーグに関する研究は行われてきたが、ファンクラブ会員や後援会に着目した研究はあまり行われていない。

本研究の目的は、プロ野球独立リーグの一考察として、BC リーグの試合を観戦に訪れた観戦者の中から、チームのファンクラブや後援会に入会している会員と入会していない非会員との間で、観戦に訪れる際の観戦動機などに差があるのかを明らかにすることである。

2. 研究方法

調査対象は、BC リーグ試合観戦者で新潟 155 人、福井 66 人の計 221 名であった。

調査は、2011 年 8 月 21 日（日）新潟 VS 福井（HARD OFF ECO スタジアム新潟）と 2011 年 9 月 28 日（水）福井 VS 富山（福井フェニックススタジアム）で行われた。

調査方法は、質問紙を用いたアンケート調査で試合前に全て配布・回収された。

調査内容は、観戦者の個人的属性（12 項目）と観戦動機に関する 5 因子 10 項目を 7 段階尺度で回答を得た。

分析方法は、まず SPSS を用いて観戦者の個人的属性を単純集計した。次に、観戦動機 5 因子 10 項目における個人的属性による差を t 検定で検証した。

3. 結果と考察

表 1 は、観戦動機 5 因子 10 項目におけるプロ野球独立リーグ全体の観戦者のファンクラブ入会の有無による比較の平均値と標準偏差および t 検定の結果一覧である。

表 1. 観戦動機 5 因子 10 項目におけるファンクラブ入会の有無による比較の平均値と標準偏差および t 検定結果の一覧（全体）

観戦動機因子	質問番号	会員 (n=82)	非会員 (n=98)	t 値
社交	Q1	5.62(1.17)	4.84(1.27)	4.29 **
	Q2	5.51(1.22)	4.91(1.29)	3.21 **
パフォーマンスの美しさ	Q3	5.51(1.30)	5.18(1.40)	1.59 n.s.
	Q4	6.13(0.97)	6.07(1.02)	0.35 n.s.
ドラマ性	Q5	6.18(1.02)	5.91(1.10)	1.68 n.s.
	Q6	6.43(0.97)	6.48(0.83)	-0.35 n.s.
代理的達成	Q7	6.40(1.01)	6.22(1.16)	1.11 n.s.
	Q8	6.31(0.99)	6.36(0.91)	-0.31 n.s.
娯楽	Q9	5.76(1.31)	5.37(1.26)	2.02 *
	Q10	5.83(1.18)	5.58(1.26)	1.33 n.s.

()=SD **p<.01 *p<.05

会員、非会員ともに代理的達成因子が最も高く、ひいきにしている選手やチームの成功によって経験される達成感を味わうために観戦に来ていることがわかる。ドラマ性因子が 2 番目に高い数値となった。最後まで勝敗の行方がわからない緊迫感や勝負のドラマを楽しもうとする観戦者が多いと考えられる。

また、観戦動機 5 因子 10 項目の平均値を比較した結果、社交 2 項目（会員 5.62、非会員 4.84）（会員 5.51、非会員 4.91）、娯楽 1 項目（会員 5.76、非会員 5.37）において有意な差が見られた。クラブ会員の観戦者は、試合会場での観戦を通じて友人や仲間との時間を分かち合おうとする観戦動機が強いと示唆された。クラブ会員では 5 因子 10 項目すべてが 5.00 を上回る結果となった。